



本庄市マスコット  
はにぼん

# 産業振興でまちを活性化！

～農業とゼロカーボンを育む「道の駅」ほんじょうの挑戦～



2023年8月22日

本庄市 産業開発室 小暮 良彦

# 本庄市の概要

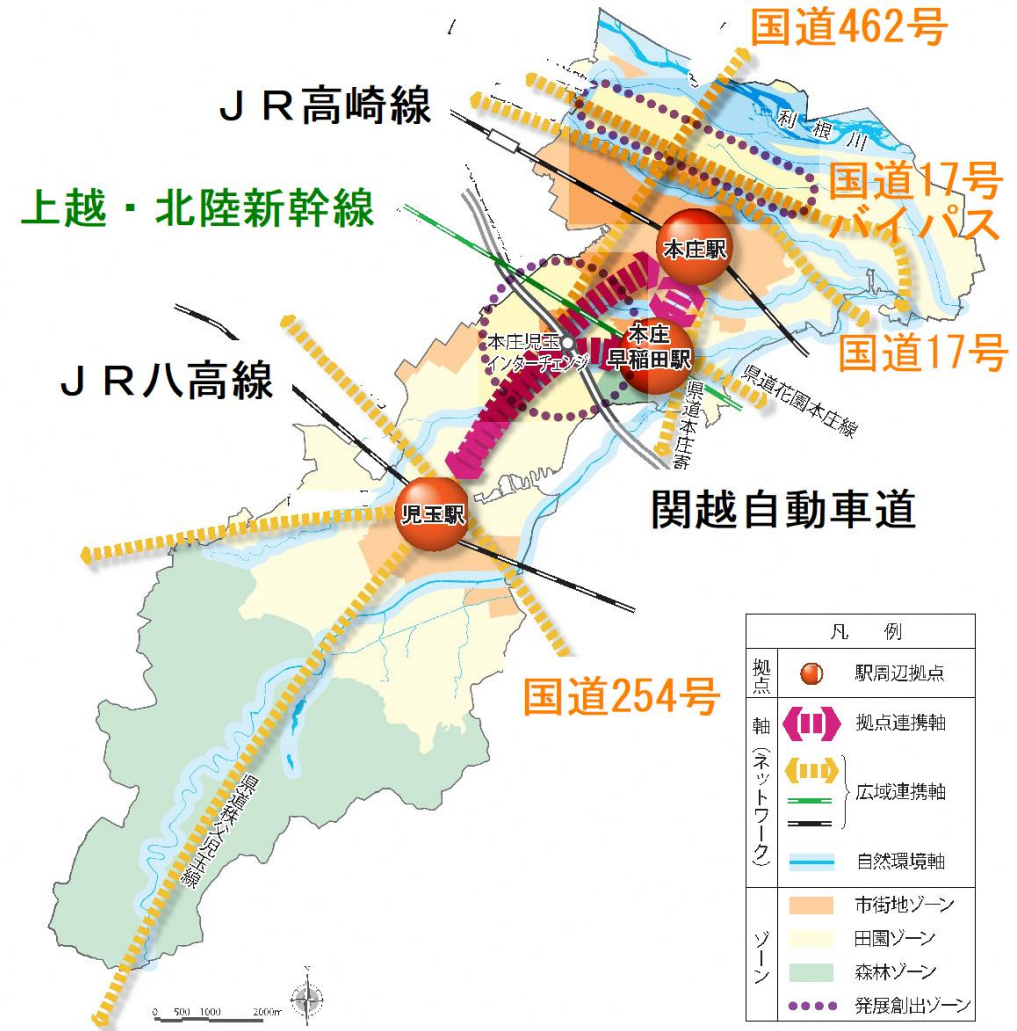


©本庄市



人口：約78,000人  
面積：約90km<sup>2</sup>

本庄早稲田駅～東京駅：新幹線で約50分  
本庄児玉IC～練馬IC：車で約45分  
本庄児玉IC～軽井沢IC：車で約40分



昔も今も交通の要衝 「埼玉県の北の玄関口」

# 豊富な地域資源を活かした まちづくり

農 業

ゼロ  
カーボン

学生の  
まち

大学との  
連携



## 《豊富な地域資源：農業（特産物）》

野菜



**どんな野菜も栽培できる気候と土壌**

きゅうり・レタス・玉ねぎ・ブロッコリー・なす等の出荷量は  
県内トップクラス

花



**ハウスでの花卉栽培が盛ん**

胡蝶蘭やポインセチア等の出荷量は県内トップクラス



## 《豊富な地域資源：農業（取り組み）》

令和3年度 環境保全型農業の実施面積  
(埼玉県上位10自治体抜粋)



**環境保全型農業（緑肥）**  
減農薬・減化学肥料にも積極的な農家が多い



## 《豊富な地域資源：農業（人材）》



若手や女性の農業後継者が元気！





## 《豊富な地域資源：ゼロカーボンの取り組み》

### 埼玉エコタウンプロジェクト（H24～26）



公共施設・公共交通のエコ化

スマートマーケット・スマートオフィス

## 《豊富な地域資源：ゼロカーボン（企業との連携）》



ゼロカーボンシティ実現に向けた共創の主な取組

- ① エネルギーの地産地消、省エネ・創エネ
- ② エネルギー転換・電化の推進によるCO2削減
- ③ 協働による脱炭素なまちづくり

省エネの推進や再エネの利活用に関する取組や啓発を連携



## 《豊富な地域資源：学生のみち》



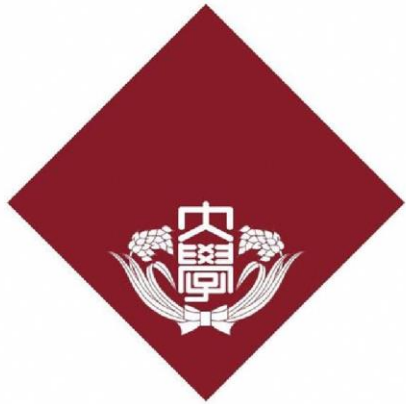
**七高祭**：市内高校の合同文化祭  
(空洞化が進む既成市街地で実施)



**中学生議会**：本庄市の将来を担う  
人材を育成



## 《豊富な地域資源：大学との連携》



連携・協働



知的・人的資源

早稲田大学の持つ多分野にわたる知的、人的な資源

地域資源

本庄市の地域資源

⇒現在、早稲田大学と本庄市の連携は、年間約40事業に及ぶ



竹を使った商品開発（地域課題「竹害」）



河川調査（小学生の環境学習）



## 《バイパス道路の開通》～産業振興にとって最高のチャンス～



交通利便性が向上し、  
「ヒト」・「モノ」の流れが大きく変化！

順調に工事が進む国道17号バイパス  
(概ね10年後の開通を想定)



## 《バイパス道路の開通》～産業振興にとって最高のチャンス～

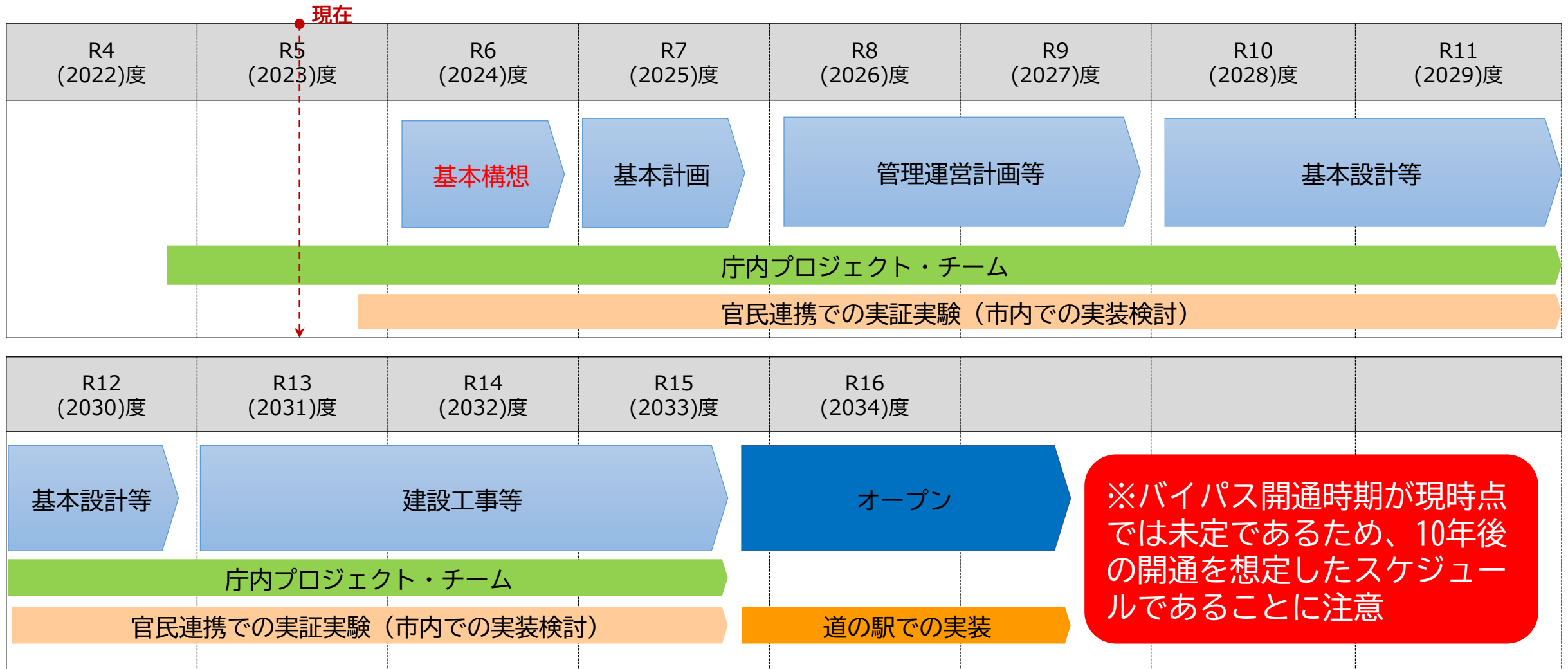


### 《バイパス道路の特徴》

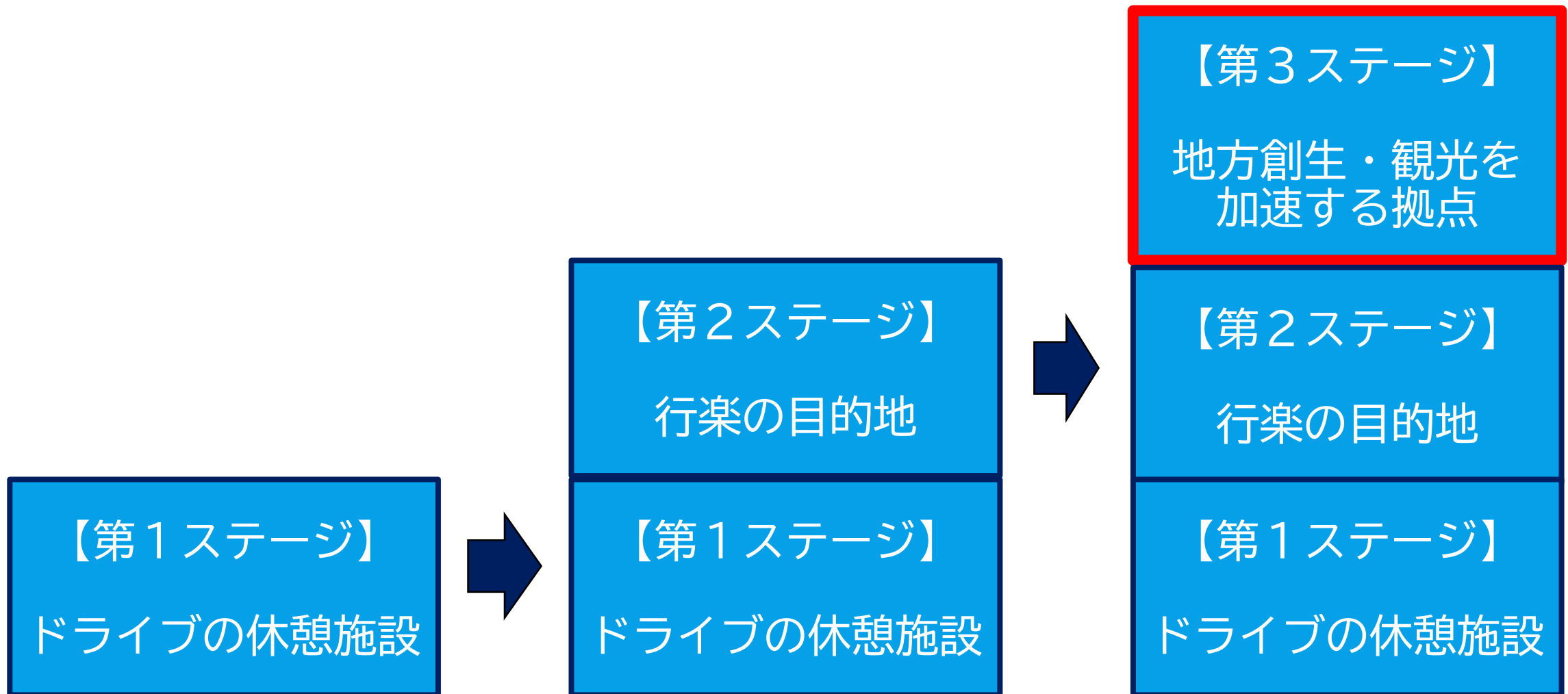
- ◆ 2つの国道が交差
- ◆ すぐ近くには広大な流域面積を誇る利根川
- ◆ 両サイドの大半が農地



## ～「道の駅」設置検討プロジェクト・チームを結成～



## ～第3ステージに突入～

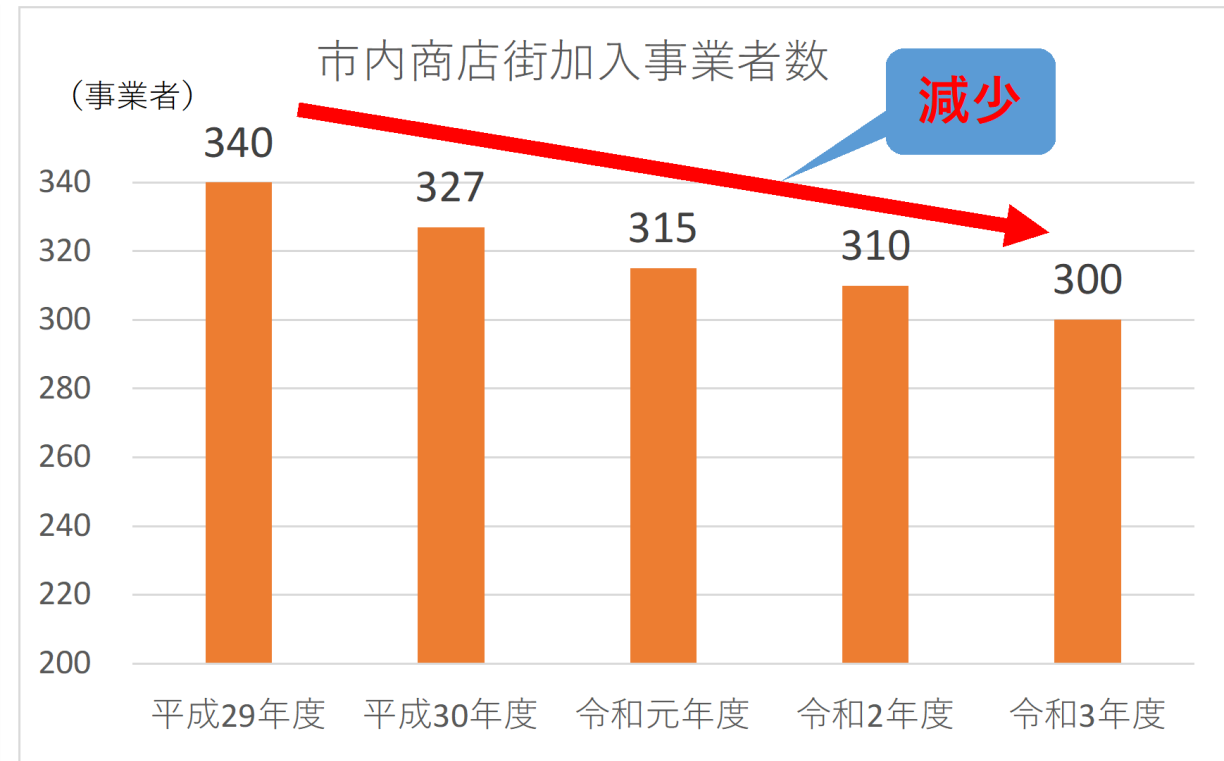
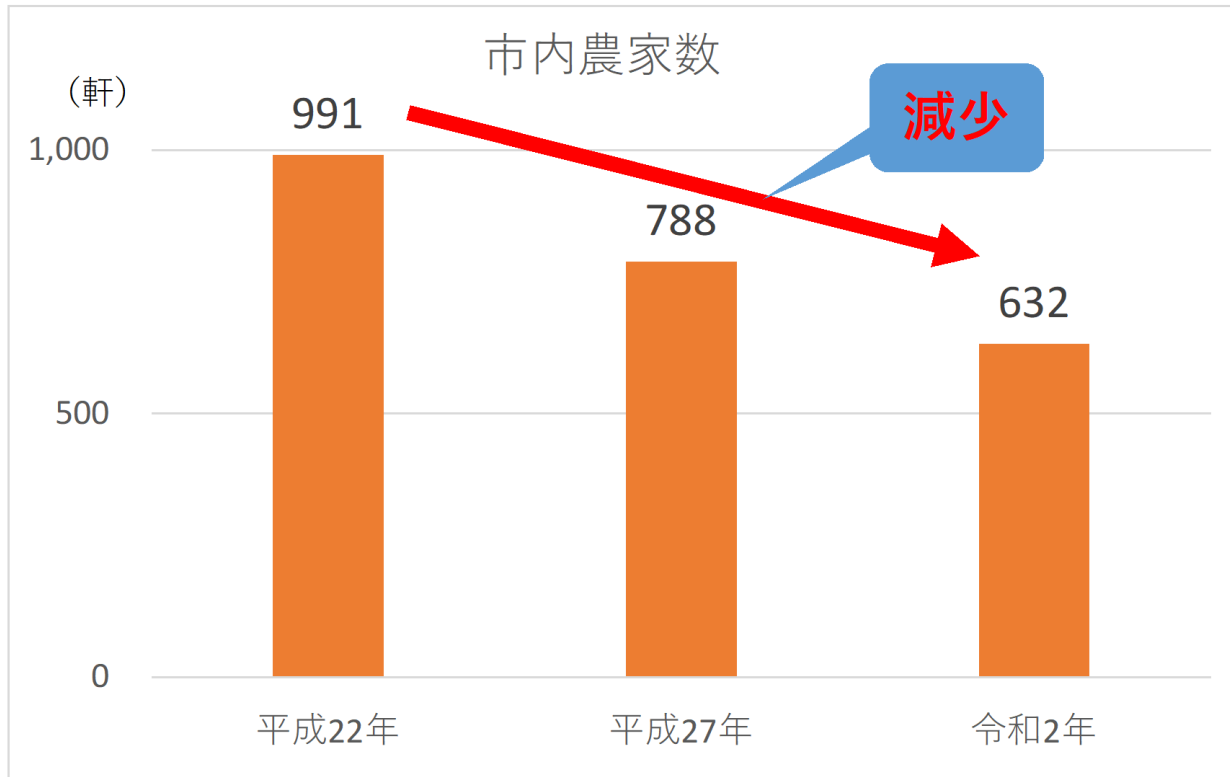




## 《人口減少》

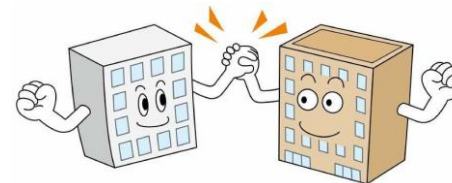
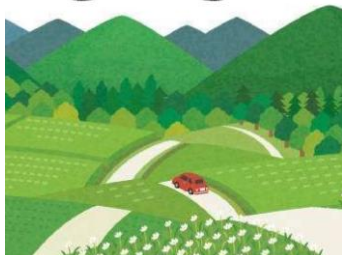
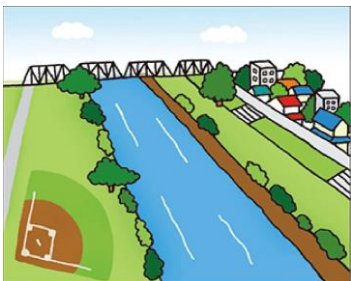
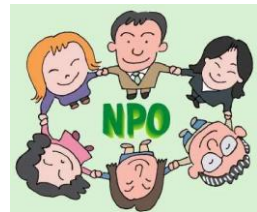
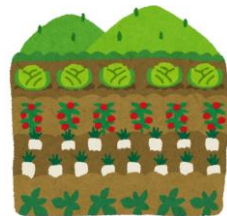
本庄市人口ビジョン：78,000人（2023年） → 65,000人（2040年）

## 《地域産業の衰退》



# 道の駅の位置付け ～地域産業の創造拠点をめざす～

本庄の豊富な地域資源や多彩な人材・機関



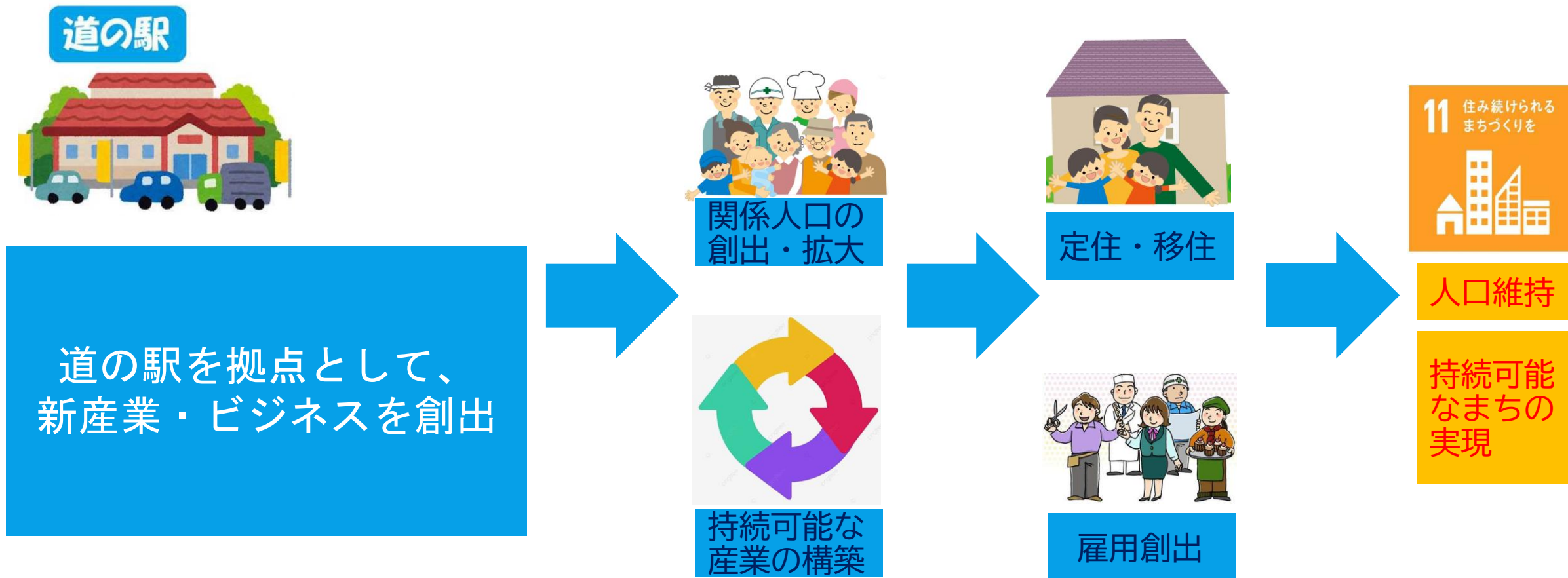
企業と共に  
実証実験や  
伴走型支援  
ができる  
フィールド



構想中の  
新たな  
道の駅



《人口減少》と《地域産業の衰退》をくい止め持続可能なまちに！



## 『道の駅』

×

農業

ゼロ  
カーボン



例えば…

## 『道の駅』

×



### 農業①：本庄野菜等のPR戦略の拡充（ブランド化等）



あまりん



3色カリフラワー



見玉なす

例えば…

## 『道の駅』

×

## 農業②：本庄野菜等の販路拡大



©本庄市



通信販売・国外輸出



規格外品の活用  
(なすのヨーグルトゼリー)



例えば…

## 『道の駅』

×

### 農業③：本庄野菜等の6次産業化



どらQ



ナスジャム



ベジタブルブーケ

例えば…

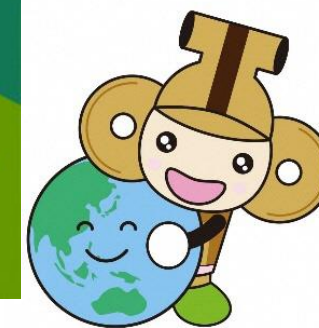
## 『道の駅』

×

### ゼロカーボン①：再生可能エネルギーの利活用



水素エネルギーの利活用



©本庄市



例えば…

## 『道の駅』

×

ゼロカーボン②：ドローンや次世代型モビリティを活用した  
物流・交通手段の仕組みづくり

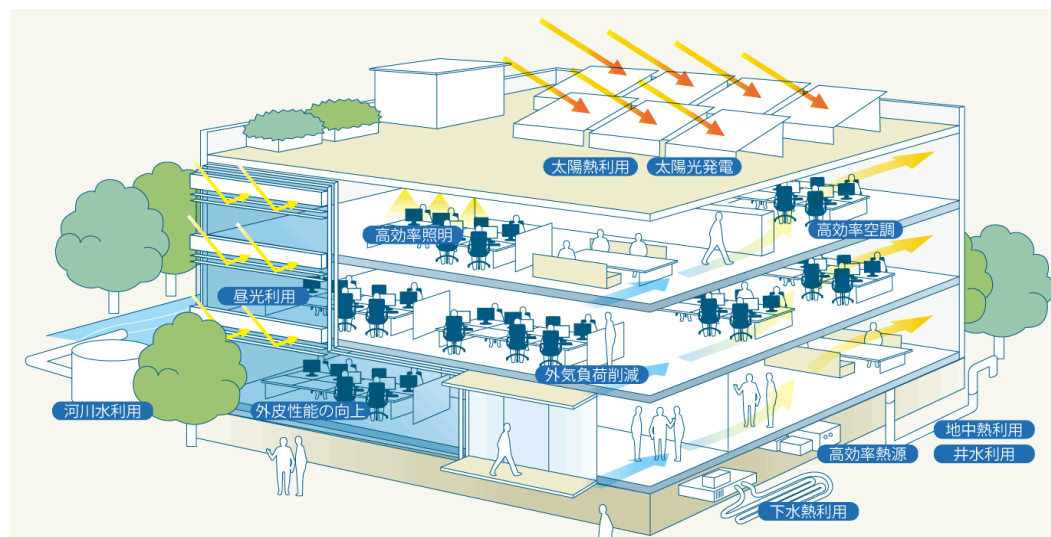


例えば…

## 『道の駅』

×

### ゼロカーボン③：再エネ供給100%の仕組みづくり



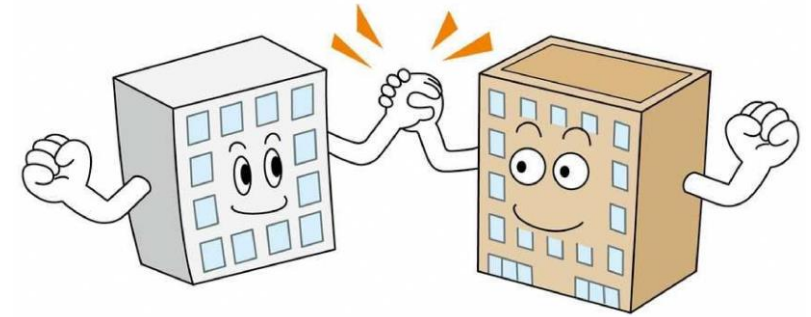
消費する1次エネルギーの収支をゼロに！



- ① 実証フィールドの調整と提供
- ② 協力人材（農業女子・学生等）の調整と確保
- ③ 関連機関との連絡調整（早稲田大学との連携など）
- ④ 取組事業に関する広報周知
- ⑤ 取組の推進に必要な市保有データの提供
- ⑥ 必要に応じた予算の調整



- ① 「ESG」の取り組みを強化することになる
- ② 企業イメージの向上につながる
- ③ 他自治体での横展開が期待できる
- ④ 本市他分野での応用展開が期待できる
- ⑤ 実証実験のデータや人材等を引き継ぐことで、スムーズな実装につながる





## 「道の駅」は無数の可能性を秘めた宝箱！

- ① 多彩な主役との連携
- ② 戦略的な取組や仕掛



10年後の世界を想像しながら、本庄市と一緒にワクワクすることを「道の駅」でやりましょう！

すべては、誇りある故郷を未来へつなぐため！

## 1. 本庄市の目指す姿

道の駅をハブとして、本市の新たな魅力が生まれ、持続可能なまちであり続けるために必要な産業構造が構築されている

## 2. 懸念していること

人口減少や農業・商業等の地域産業の衰退により社会活動や経済活動が縮小し、まちの魅力も低下してしまう

## 3. 提案して欲しいこと

道の駅での活用を見据えた農業や環境分野における新たな地域ビジネスなどの産業振興策